

小規模事業者 景気動向調査報告書

(令和6年4～6月期)

延岡商工会議所／中小企業相談所

延岡市幸町3丁目101 延岡駅西口街区ビル3階

TEL 0982(33)6666

FAX 0982(33)6682

I. 実施概要

1. 調査対象事業所数	125事業所
2. 回答事業所数	60事業所
3. 回答率	48.0%
4. 業種別内訳	
製造業	12事業所
建設業	5事業所
卸売業	3事業所
小売業	24事業所
サービス業	16事業所
合計	60事業所

5. 実施時期

令和6年 7月上旬～8月上旬

6. 調査対象期間

令和6年 4月から6月（第1四半期）

7. 調査内容

調査対象期間である第1四半期について前年同期比、前期比、来期見通しの売上（受注）状況、採算（経常利益）、資金繰り、材料仕入価格、雇用（労働力）状況、設備投資計画、業況の各項目についての状況。

（D I 値の集計）

※ D I 値（景況判断指数）について

D I 値は、売上、採算、資金繰り、仕入価格、雇用状況、設備投資、業況の各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気、弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

$D I = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

売上：（増加）－（減少）

採算：（好転）－（悪化）

資金繰り：（好転）－（悪化）

仕入価格：（低下）－（上昇）

従業員：（不足）－（過剰）

設備投資：（拡大）－（縮小）

業況：（好転）－（悪化）

8. 調査方法

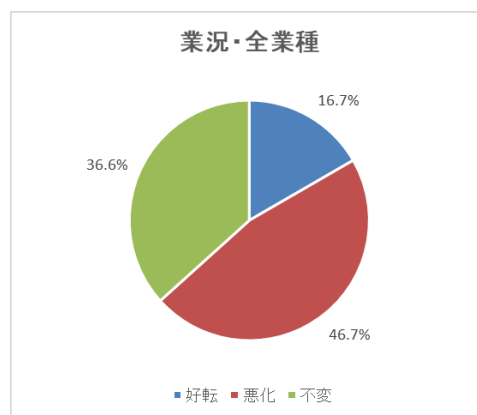
調査対象事業所に対して、調査票を郵送しファクシミリ及び電子メール等で回収、当所にて集計、分析を行う。

Ⅱ. 概況

1. 全業種の業況

全業種の業況判断として、前年同期比（令和5年4月～6月）のD I値は▲30.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は16.7%、
悪化したと回答した事業所が46.7%、
変わらないと回答した事業所は36.6%だった。



令和6年4～6月の前年同期比について、「悪化」の回答が多く、その原因として、仕入価格の上昇に伴う価格転嫁に苦戦していることや人手不足が影響しているという意見が多く挙げられた。

一方で、雇用による人手不足解消で売上が増加したという意見もいくつか挙げられた。他に、提供する商品を工夫し価格転嫁出来ていない現状をしのいでいるという意見があった。

	R5. 4～6 前年同期比	R6. 1～3 前期比	R6. 7～9 見通し
全業種	▲30.0	▲31.7	▲18.3
製造業	▲36.4	▲45.5	▲9.1
建設業	▲16.7	▲33.3	▲16.7
卸売業	▲33.3	▲33.3	▲66.7
小売業	▲43.5	▲34.8	▲26.1
サービス業	▲11.8	▲17.6	▲5.9

来期見通し（令和6年7～9月）のD I値については、▲18.3ポイント。

全ての業種で悪化の見込み。

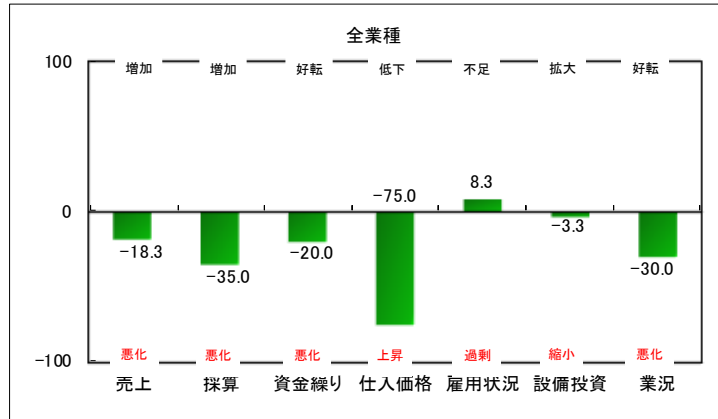
各業種で、売上増加を見込んでいる事業者は少なく、仕入価格の高騰や人手不足を懸念する声が多かった。

少数ではあるが、設備投資の検討や新商品の開発を行う、といった前向きな意見があった。

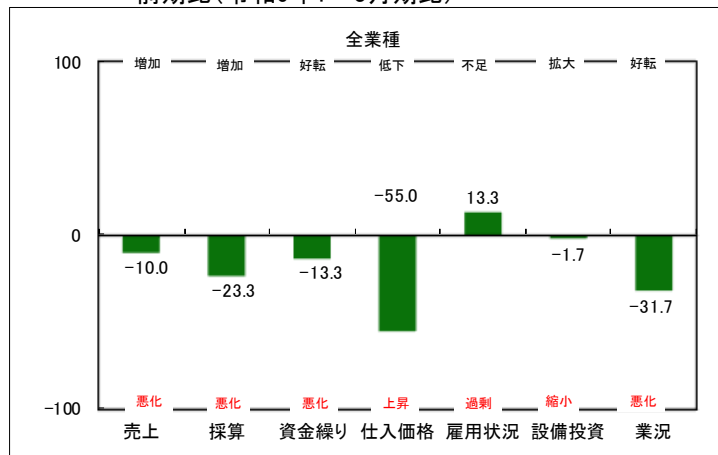
市内景気動向

全業種

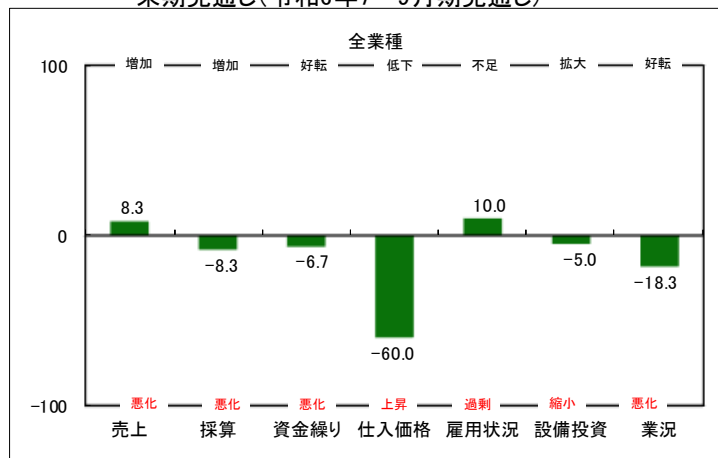
前年同期比(令和6年4～6月期比)



前期比(令和6年1～3月期比)



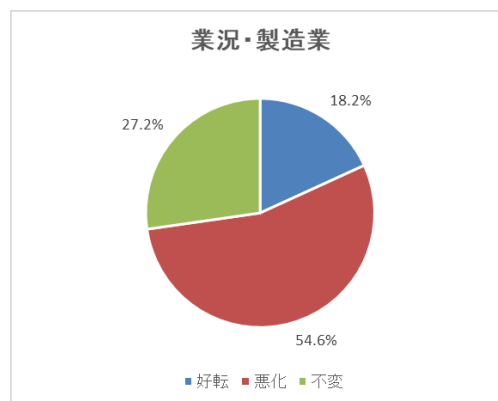
来期見通し(令和6年7～9月期見通し)



2. 業種別の概要

- ① 製造業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲36.4ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は、18.2%、
悪化したと回答した事業所が54.6%、
変わらないと回答した事業所が27.2%だった。



来期見通しD I 値についても▲9.1ポイントで、
悪化の見通しとなっている。

○主な意見

【鋼構造物工事業】

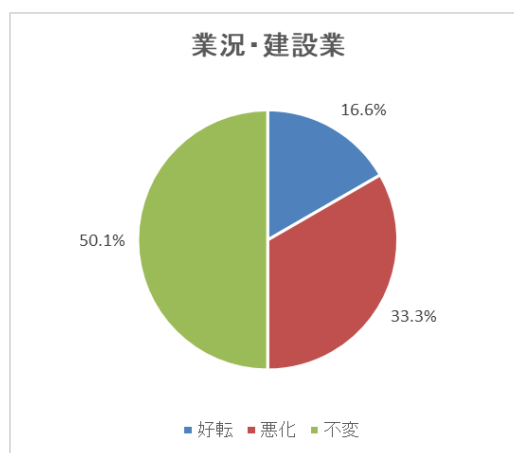
- ・「前年同期は年度初めで、受注残はあったが完工はなく、売上にも反映されなかったが、今期は売上も増え、現着工中案件の換金などで資金繰りはかなり楽となった為。」

【看板広告業】

- ・仕入価格値上がりしてるけど価格は上げられない

- ② 建設業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲16.7ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は16.6%、
悪化したと回答した事業所は33.3%、
変わらないと回答した事業所は50.1%だった。

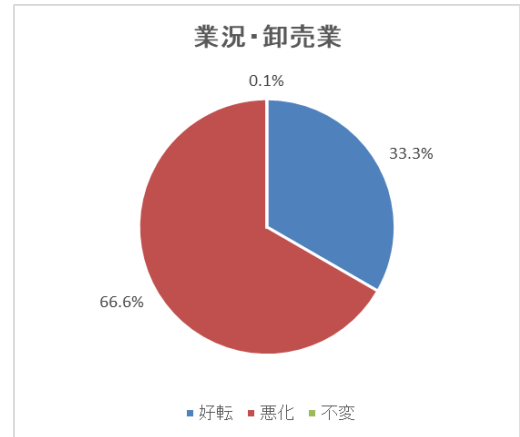


来期見通しのD I 値は、▲16.7ポイントで、悪化の見通しとなっている。

③ 卸売業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲33.3ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は33.3%、
悪化したと回答した事業所が66.6%、
変わらないと回答した事業所0.1%だった。

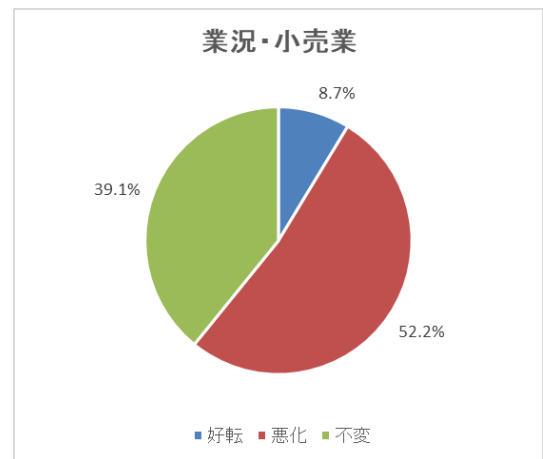
来期の見通しD I 値は、▲66.7ポイントで、
悪化の見通しとなっている。



④ 小売業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲43.5ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は8.7%、
悪化したと回答した事業所は52.2%、
変わらないと回答した事業所は39.1%だった。

来期の見通しD I 値は、▲26.1ポイントで、
悪化の見通しとなっている。



○主な意見

【菓子製造及び販売業】

- ・「すべての仕入価格が上昇 天候の悪さで安定が少ない。」

【飲食業】

- ・「コロナ後だが客足が戻っていない」

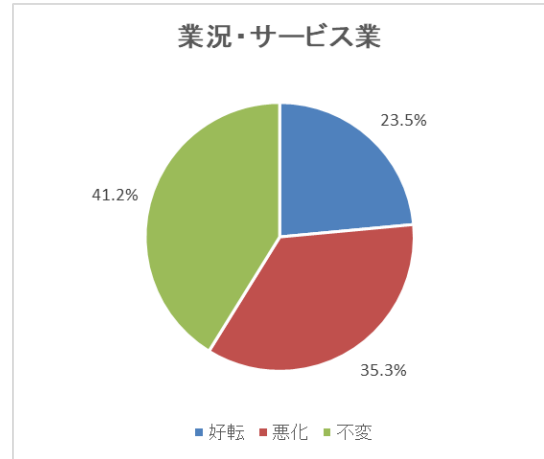
【自動車販売業】

- ・今年はずくに円安、物価高になって不景気が続き消費が拡大していない事と思います。

⑤ サービス業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲11.8ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は23.5%、
悪化したと回答した事業所は35.3%、
変わらないと回答した事業所は41.2%だった。

来期見通しD I 値は、▲5.9ポイントで、
悪化の見通しとなっている。



○主な意見

【衣服裁縫修理業】

・「材料費の高騰により、人手不足により営業に回れない」

【飲食サービス業】

・「イベント実施で若干の集客増を感じたが今後も厳しい見通し」

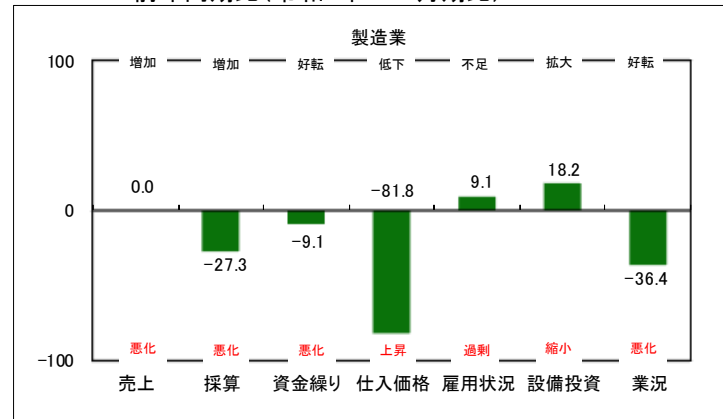
【通所・短期入所介護事業】

・「創業時に売上が伸びず運転資金を圧迫し、現在も影響が続いている」

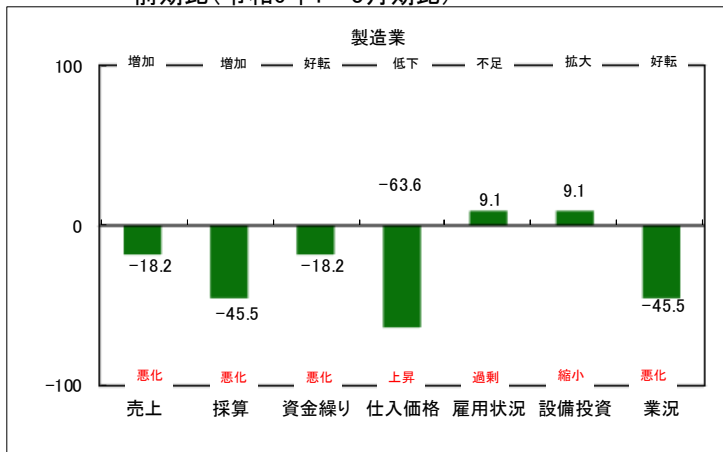
業種別景気動向

製造業

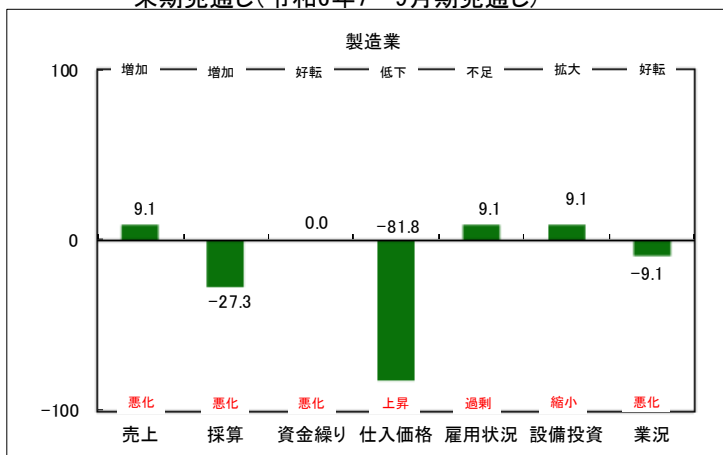
前年同期比(令和6年4~6月期比)



前期比(令和6年1~3月期比)



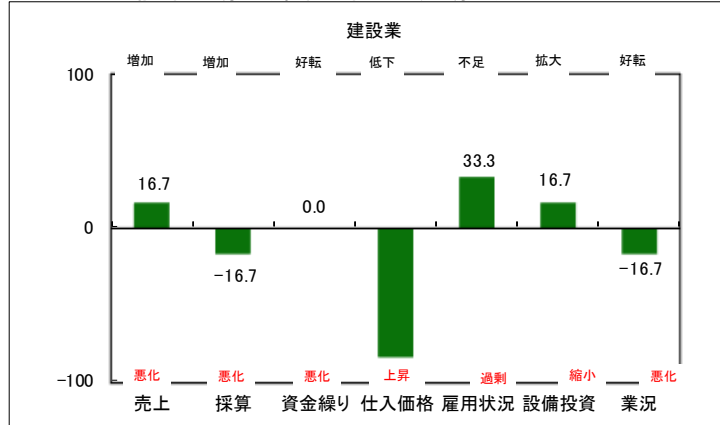
来期見通し(令和6年7~9月期見通し)



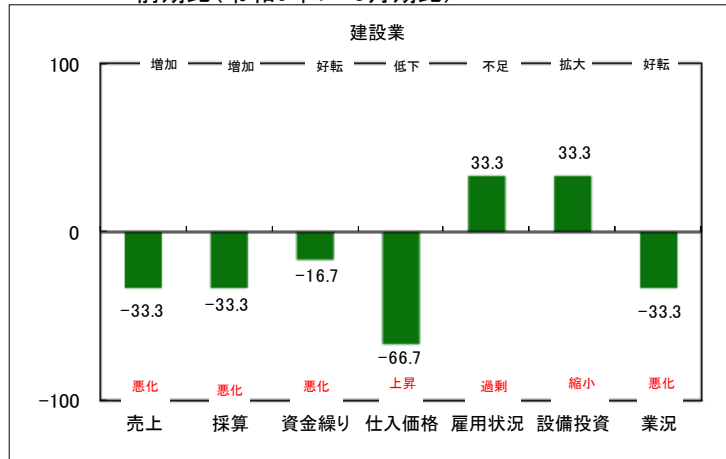
業種別景気動向

建設業

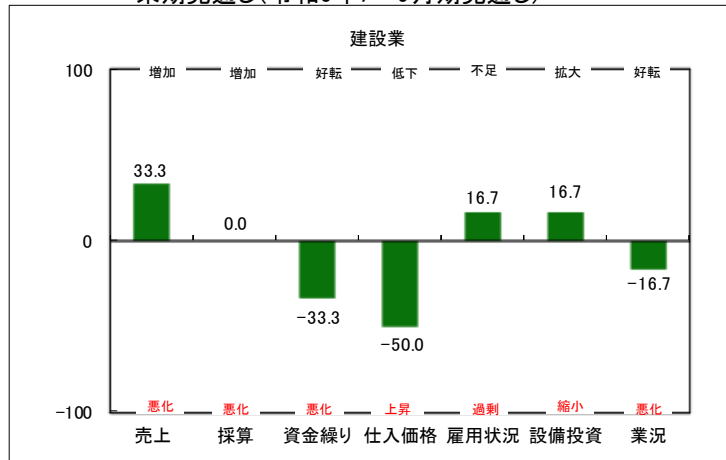
前年同期比(令和6年4～6月期比)



前期比(令和6年1～3月期比)



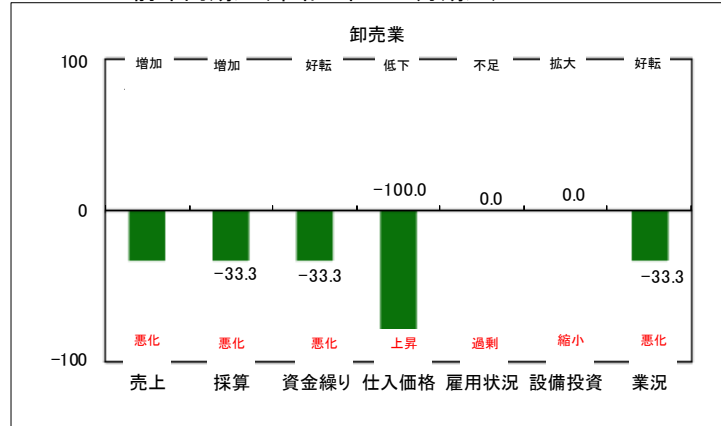
来期見通し(令和6年7～9月期見通し)



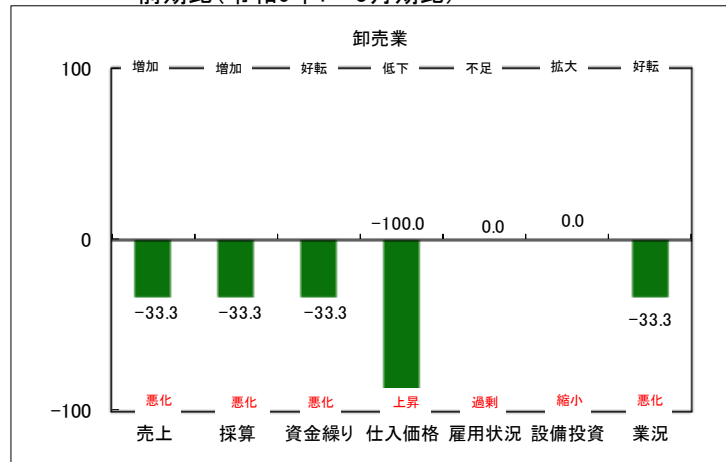
業種別景気動向

卸売業

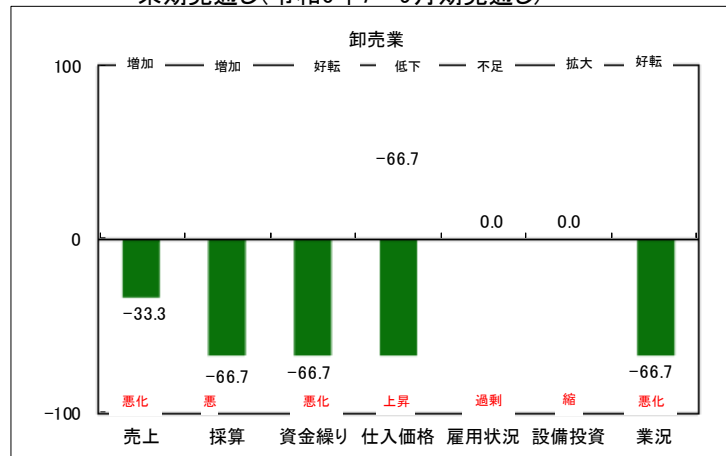
前年同期比(令和6年4~6月期比)



前期比(令和6年1~3月期比)



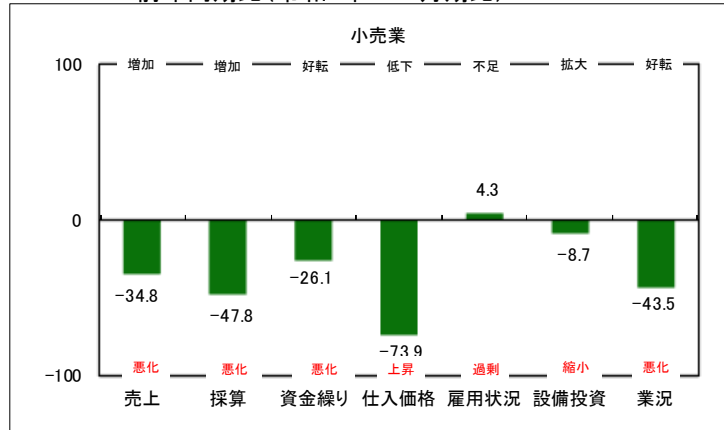
来期見通し(令和6年7~9月期見通し)



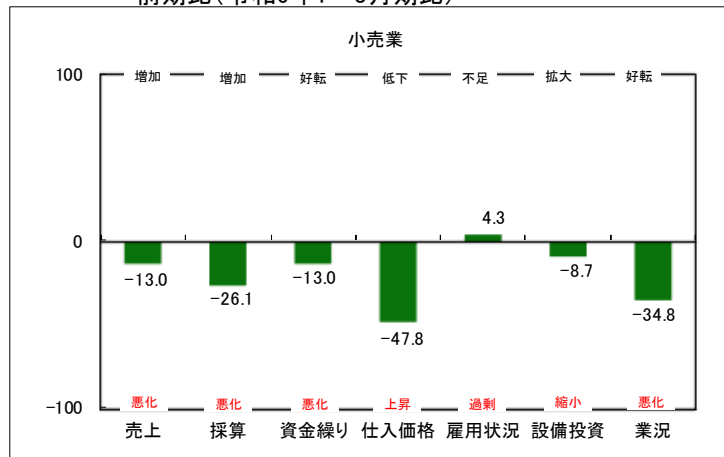
業種別景気動向

小売業

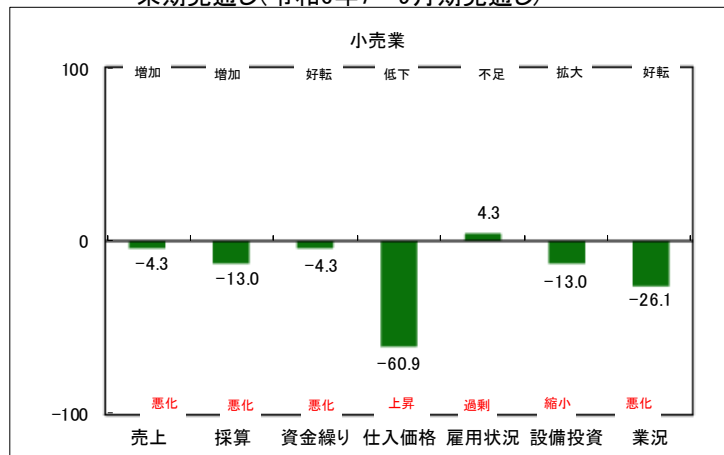
前年同期比(令和6年4～6月期比)



前期比(令和6年1～3月期比)



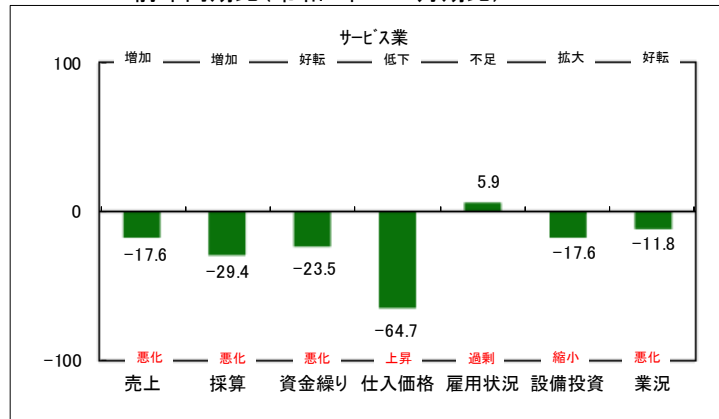
来期見通し(令和6年7～9月期見通し)



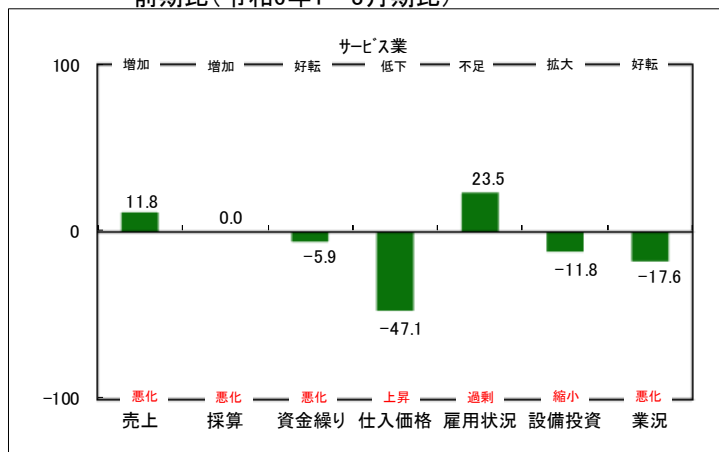
業種別景気動向

サービス業

前年同期比(令和6年4～6月期比)



前期比(令和6年1～3月期比)



来期見通し(令和6年7～9月期見通し)

